

## サステナビリティ

企業理念である「世の女性に美しくなって貰う事によって、広く社会に寄与する」ことを実践していくために、自らの事業活動が環境や社会に及ぼす影響を認識するとともに、本業に通じた社会的事業活動を持続的に進めることで、社会課題の解決に取り組んでいます。

 サステナビリティ情報と詳細データは当社 WEB サイトに掲載しています  
<https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/>

### 基本的な考え方

当社は、社会の要請と期待に応え、社会から信頼される関係があつてこそ、健全な企業活動は遂行され、持続的な成長が可能になると考えています。土地、エネルギー、人材、多くの原材料など、さまざまな資源を社会から調達し事業活動を行っていますが、もしも社会との信頼関係がなければ、必要な経営資源の調達は叶いません。これからも、市場が存在する社会への配慮と貢献を念頭において事業活動に取り組んでいきます。

#### CSR活動方針

ワコールが果たすべき基本的な社会的責任は、愛される商品を作り、時代の要求する新製品を開発し、大いなる将来を考え正々堂々と営業することです。正々堂々と事業活動を展開し、お客さまが求める商品を提供する「まじめなものづくり」に取り組み、それを通じてお客さまと社会との信頼関係を構築することをCSRのベースにおいて活動しています。

ワコールは、国際標準化機構 (ISO) で2010年11月に発行された「ISO26000：2010(財)日本規格協会」をもとに、7つの原則(説明責任・透明性・倫理的行動・ステークホルダーの利害の尊重・法の支配の尊重・国際行動規範の尊重・人権の尊重)と7つの中核主題(組織統治・人権・労働慣行・環境・公正な事業慣行・消費者課題・コミュニティへの参画)に沿ってCSRを推進しています。

### 重要な取り組み領域

#### 環境活動

当社は、「地球環境を守ることは企業の責務である」との認識に立ち、環境保全に配慮した事業活動を推進しています。設計から材料開発、そして、生産・物流・販売までのさまざまな工程で、環境に配慮した取り組みを積極的に行うなど、環境負荷の少ない商品提供と汚染の予防に努めています。今後は、包装

材での脱プラスチック対応の推進や、売れ残り商品廃棄の縮減、スマートファクトリー化の推進など、サプライチェーンにおける環境の取り組みをさらに強め、地球環境や地域社会との共生を高めていきます。

#### サプライチェーンにおける環境への取り組み

地球や企業活動に重大な影響を及ぼす気候変動は、当社グループの経営にとってリスクであると同時に、新たな事業機会をもたらすものと考えています。(株)ワコールは、環境課題の解決や改善に取り組むことが、健全な企業としての発展と持続可能な社会を実現すると考え、サプライチェーン全体の環境負荷低減に向けて「サプライチェーン環境プロジェクト」が2020年2月に発足しました。

従来、環境に関する取り組みは、「国内事業所の環境負荷低減」を中心に取り組んでおり、サプライチェーンに関する取り組みについては、「モーダルシフトの推進」「プラ・リサイクル活動」

など部分的なものにとどまっていた。今回始動した「サプライチェーン環境プロジェクト」は、サプライチェーンの枠組みに応じた、「販促物削減」「廃棄物削減」「環境負荷の低い商品・資材の開発」の3つの分科会で構成され、各課題の現状把握、改善目標の設定、行動計画の策定を行っています。

また、「低炭素社会の実現」に向けた温室効果ガス排出量の削減計画に向けては、「事業所内活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減」「ライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>排出量削減」の2軸から目標設定と進捗開示を行う計画であり、本プロジェクトにおいて議論を重ねています。

#### サプライチェーン環境プロジェクト概要

##### ① 販促物削減分科会

目的：店頭におけるパンフレット、ポスター、DM、ショッピングバッグの削減

##### ② 廃棄物削減分科会

目的：商品の廃棄数を削減、環境に配慮したリサイクル活動の実施、工場における残材料、裁断くずの削減

##### ③ 開発分科会

目的：ワコール環境基準の設定、「環境に配慮した商品や付帯資材」の展開

### 相互信頼と協働に基づくCSR調達の推進

繊維・アパレル産業のサプライチェーンは、販売する国や地域での商品企画・設計に始まりますが、原材料の生産・調達、製品の工場での量産は、ほとんどが中国やASEANの新興諸国で行われ、輸送されてくる国際的なネットワークになっています。

当社は、2017年10月に制定した「ワコールグループCSR調達ガイドライン」において、「社会的責任を果たしていくためには、商品の生産に関わるすべてのお取引先と緊密なパートナーシップを築き、『品質』『価格』『納期』のみならず、『人権』『労働慣行』『環境』『倫理』などの社会的要求事項についても、お取引先とともに遵守・尊重しなければなりません」と宣言し、2018年2月からガイドラインに定める内容の遵守状況を的確に把握することで、継続的な是正・改善につなげるサイクルの運用を開始しました。また、2018年5月からは開示に賛同していただいた製造委託先工場の基本情報を当社WEBサイトで公開しています。

### 公開している製造委託先工場の基本情報 (2020年8月現在)

会社名	公開(更新)した工場数	対象工場による製造が仕入高に占める割合	更新回数
(株)ワコール	製造委託先129工場	インナーウェア、パジャマ、ルームウェア、ベビー・マタニティウェア、レッグウェア、スポーツウェアの95%	3回
(株)ピーチ・ジョン	製造委託先26工場	インナーウェア、ルームウェア、ファッションウェアの88%	3回
(株)ルシアン	製造委託先11工場	インナーウェアの99%	3回
(株)Ai(アイ)	製造委託先16工場	スイムウェア、インナーウェアの56%	2回

### 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う製造委託先工場への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた店舗の営業停止や外出制限などの措置による売上低迷に伴い、当社グループでは過剰在庫の回避に向けた生産調整を実施しています。生産調整の実施にあたっては、製造委託先工場と誠実に対策を協議するとともに、生産中止に伴う調達済みの材料については適正に支払う、または、今後再利用に努めるなど、サプライヤーである製造委託先工場に不利益が生じないように対応しています。

### 2020年3月期の取り組み内容と2021年3月期の計画

2020年3月期 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造委託先工場を対象とした現地監査を継続(対象工場の約2割を現地監査)</li> <li>● CSR調達活動の対象範囲拡大((株)ワコール卸売事業本部で展開するインナーウェア以外の部門、及び小売事業本部の製造委託先工場を調査対象に追加)</li> <li>● 自己評価及び製造委託先調査の運用手法を改訂</li> </ul>
2021年3月期 計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記の現地監査を継続</li> <li>● CSR調達活動の対象範囲拡大(WEB販売事業部門、(株)ウナナナクール及び米国・欧州・中国の連結子会社の製品調達先を調査対象に追加)</li> <li>● 改訂した新たな自己評価及び製造委託先現地監査の運用開始</li> <li>● 製品調達先に常駐する委託事業者向けチェックリスト兼誓約書の提出要請を開始</li> </ul>



現地監査(ミャンマーワコール)



バンドナイフ作業時における安全対策(中国、仕入先製造委託先工場)